

2022年度 学生募集要項

青山学院大学大学院  
経済学研究科

- 経済学専攻
- 公共・地域マネジメント専攻

博士前期課程

一般入試 (秋)  
一般入試 (春)

## 目 次

青山学院教育方針・青山学院大学の理念	2
アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）	3
沿革・役職員・学位	4
募集人員・出願資格	5
試験科目	6
公共・地域マネジメント専攻出願者への補足説明	7
出願書類	8
入学検定料・出願手続	9
入学試験日・合格発表	10
入学手続・注意事項・授業キャンパス・授業時間について	11
学費等・入学辞退願提出について	12
教員組織（経済学専攻）	13
別表（経済学専攻 第1次筆記試験 選択受験科目）	14
教員組織（公共・地域マネジメント専攻）	15

## 青山学院教育方針

青山学院の教育は  
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、  
神の前に真実に生き  
真理を謙虚に追求し  
愛と奉仕の精神をもって  
すべての人と社会とに対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。

## 青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、  
神と人ともに仕え社会に貢献する  
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。  
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって  
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。  
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。  
本学のすべての教員、職員、学生は、  
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、  
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

## 個人情報の取扱いについて

1. 受験者の個人情報は、個人情報保護法ならびに同法の趣旨に則り定められた「学校法人青山学院個人情報の取扱いに関する要綱」に基づき、適正に取り扱います。
2. 受験者の個人情報は、入試業務ならびに当該業務に付随する連絡・通知等、本研究科の教育事業に必要な範囲でのみ使用いたします。利用目的達成後は個人データの漏洩・滅失・毀損の防止その他個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。ただし、個人が特定できないよう統計処理したデータは、文部科学省等に対し、その事業の適正な遂行に係る調査・研究のための資料として提供することがあります。

## アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

### ◀ 博士前期・修士課程 ▶

本学大学院博士前期課程・修士課程では、各専攻が求める人材を、さまざまな形式の入学試験を通して以下の能力等に照らして受け入れる。

- ・当該専攻の研究に必要な専門知識・専門技能
- ・課題に対して論理的に思考、判断し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力
- ・本大学院の特徴を理解し、大学院における学びを追求し、社会のために還元する意欲・関心・態度

### ◀ 経済学研究科 経済学専攻 博士前期課程 ▶

知識・技能

経済学における基本知識に精通している。

思考力・判断力・表現力

経済学分野における課題に対して論理的に思考し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力を有する。

意欲・関心・態度

経済学分野で修得したものを社会に役立てる意欲を有している。

### ◀ 経済学研究科 公共・地域マネジメント専攻 博士前期課程 ▶

知識・技能

公共経済学および地域経済学における基本知識に精通している。

思考力・判断力・表現力

公共経済学および地域経済学分野における課題に対して論理的に思考し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力を有している。

意欲・関心・態度

公共経済学および地域経済学分野で修得したものを社会に役立てる意欲を有している。

経済学研究科および各専攻の「教育研究上の目的」「カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）」「ディプロマポリシー（修了認定・学位授与の方針）」は、以下の本学ウェブサイトにてご確認ください。

経済学研究科

[http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate\\_economics/objective.html](http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/objective.html)

経済学専攻

[http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate\\_economics/de/policy.html](http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/de/policy.html)

公共・地域マネジメント専攻

[http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate\\_economics/public\\_regional\\_management/policy.html](http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/public_regional_management/policy.html)

## 沿革

- 1953年4月 経済学研究科経済学専攻「修士課程」設置
- 1957年4月 経済学研究科商学専攻「修士課程」設置
- 1960年4月 経済学研究科経済政策専攻「博士課程」設置
- 1964年4月 経済学研究科商学専攻「博士課程」設置
- 1970年3月 経済学研究科商学専攻「修士課程」「博士課程」廃止
- 1984年4月 大学院学則を改正し、「修士課程」を「博士前期課程」に「博士課程」を「博士後期課程」に変更
- 1991年4月 経済学研究科経済政策専攻博士後期課程を経済学専攻に名称変更
- 2008年4月 経済学研究科に公共・地域マネジメント専攻博士前期課程を設置
- 2010年4月 経済学研究科に公共・地域マネジメント専攻博士後期課程を設置

## 役職員

学 長	阪 本 浩
経済学研究科長	平 出 尚 道
経済学専攻主任	元 山 斉
公共・地域マネジメント専攻主任	藤 村 学

## 学位

経済学専攻	修士（経済学）
公共・地域マネジメント専攻	修士（経済学）

## 募集人員

経済学専攻 10名（一般入試(秋)(春)、学内進学者選抜試験、ウェルカム・バック入試を含む）  
公共・地域マネジメント専攻 5名（一般入試(秋)(春)、学内進学者選抜試験を含む）

## 出願資格

下記のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者
2. 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2022年3月取得見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月修了見込みの者
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年3月修了見込みの者
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2022年3月修了見込みの者
7. 文部科学大臣の指定した者
8. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達したもの

注意：上記8.により出願を希望する場合、一般入試（秋）については2021年7月9日（金）まで、一般入試（春）については2021年11月26日（金）まで（いずれも最終日必着）に、下記①～③の書類を学務部教務課 経済学研究科担当宛に郵送してください（入学資格審査を実施します）。

- ① 学歴・職歴・研究業績等を記したもの（書式自由）
- ② 最終学歴の卒業証明書および成績証明書
- ③ 志望理由書（志望動機、研究テーマおよび研究計画等について1,200字程度。書式自由）

## 試験科目

### 経済学専攻

- ・筆記試験（基本的な知識を問う問題）

研究指導希望教員がP.14《別表》にて指定する受験科目「マイクロ経済学」、「マクロ経済学」、「計量経済学」、「経済史」、「社会経済学」より1科目を選択し、入学志願票、写真票の所定欄に○印を明記してください。

- ・口述試験（主に、研究計画書に基づき行います。）  
筆記試験合格者のみ受験することができます。

### 公共・地域マネジメント専攻

- ・口述試験（主に、①研究計画書および②小論文に基づき行います。）

②小論文：「マイクロ経済学」、「公共経済学」、「地域経済学」、「経済時事」に関する論題から1つを選択してください。

ただし、EREマイクロ・マクロ（日本経済学教育協会・経済学検定試験）のランクがA以上の成績を取得している場合、上記②小論文の提出を免除します。

\*このランクは、小論文の水準を示すものではありません。

（注意）①研究計画書および②小論文の記載方法については、次ページ「公共・地域マネジメント専攻出願者への補足説明」を必ず確認してください。

## 公共・地域マネジメント専攻出願者への補足説明

### (1) 研究計画書（本学所定用紙）

#### ① 研究テーマの概要

主に、以下の点に留意して記述してください（すべてを満たす必要はありません）。

##### a) 問題意識

どのような問題があり、なぜその問題を研究しようと考えたのか、研究の動機や背景などを具体的に記述してください。

##### b) 研究の目的と方法

何を明らかにしたいか、先行研究などの文献を適宜引用して具体的に記述してください。

また、学問領域や理論的枠組みなど、理論分析なのか、実証分析なのかといった具体的な研究方法を記述してください。

##### c) 参考文献リスト

「研究目的と方法」で引用もしくは参考にした文献がある場合や、研究に関連して今後読む予定の文献がある場合に記述してください。

#### ② これまで履修してきた講義、演習（ゼミナール）等と研究テーマとの関連性

学部在学中に履修した専門科目のうち、研究テーマに関連すると思われるものをできる限り具体的に記述してください。社会人の志願者は大学や職場などで習得したものと研究テーマとの関連性を記述してください。

#### ③ 研究を進める上で、必要と考える専門知識や専門科目

本専攻で履修したいと考える専門科目は、開講の有無に関わらずできる限り具体的に記述してください。

また、研究に関連する専門知識や技術を研究科在学中のどの時期に習得し、学術論文（修士論文）を作成する予定であるかを、1年次前期・後期、2年次前期・後期に分けて記述してください。

### (2) 小論文（本学所定用紙）

#### ① 小論文（表紙）

#### ② 記入用紙：3ページ以内で記述してください（A4サイズを超える用紙を折って貼付しないこと）。

※ 提出に際しては、上から①小論文（表紙）、②記入用紙1～3の順に重ね、左上をホチキスで留めてください。

※ 小論文提出の免除を希望する場合は、出願期間の最終日から遡って6か月以内に実施されたEREミクロ・マクロ（日本経済学教育協会・経済学検定試験）のうち、出願者が受験したA以上の成績証明書を提出してください。



**出願書類(すべて日本語でボールペンを使用して記入してください。)**

**1. 入学志願票** (本学所定用紙、写真貼付)

専攻により書式が異なりますので注意してください。

**2. 写真票** (本学所定用紙、写真貼付)

写真票には必要事項を記入し写真を貼付してください。

**3. 出身大学または大学院の①卒業(見込)・修了(見込)証明書、②成績証明書**

※ 大学院修了者(見込みを含む)は、大学と大学院両方の証明書を提出してください。

**【注意事項】**

※ 証明書は原本を提出してください(コピー不可)。

※ 改姓等により、証明書記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更(改姓等)の事実が確認できる公的証明書(戸籍抄本等)を提出してください。

※ 出身大学に編入学した者や単位認定を受けた者は、以前の大学、短期大学の証明書も提出してください。

中国の教育機関(香港、台湾、マカオの大学は除く)を卒業・修了した者は、

①②の他に「③学位取得証明書」もあわせて提出してください。

この場合、必ずCDGDC(中国教育部学位与研究生教育发展中心)から学位認証の手続を行ってください。

学位認証の手続き【中国の教育期間(香港、台湾、マカオの大学は除く)卒業・修了者対象】

1) <http://www.cdgdc.edu.cn/> にアクセスし出願者自身でオンライン申請を行ってください。

中文で認証を受けてください。

2) 電子認証報告メールをCDGDC(中国教育部学位与研究生教育发展中心)から直接青山学院大学へ送信されるよう申込を行ってください。

CDGDCから直接本学に出願期間までに届くメールに限り有効です。

出願者本人が受領し、青山学院大学へ転送した認証書は無効となります。

認証が行われるまでに18日ほどかかる場合がありますので、早めに手続を行ってください。

(電子認証報告メール送信先)

[in-keizai@aoyamagakuin.jp](mailto:in-keizai@aoyamagakuin.jp)

※ 証明書が日本語または英語でない場合は、公的機関(当該国の大使館等)の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付してください。

※ 大使館等公的機関での証明は、その取得に時間を要しますのでご注意ください。

※ 中華人民共和国など、在日本大使館にて翻訳の公証業務を行っていない国・地域もありますので、大使館等のホームページ等で確認してください。

**4. 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学位を申請して学位を取得した者または学位取得見込みの者は、次の証明書を提出してください。**

出身校の修了(見込)証明書、成績証明書、学位取得証明書または学位申請にかかわる証明書

**5. 外国籍者は、以下①②のいずれかを提出してください。**

①住民票(「在留資格」「在留期間等」「在留期間等の満了の日」「在留カード等の番号」が記載されたもの)

②パスポートの顔写真ページのコピー(※氏名、国籍が確認できるページ)

**6. 入学検定料の「振込通知書」(大学院提出用:金融機関の収納印の押されたもの)または「収納証明書」**

出願受付後、入学検定料は返還いたしません。振り込み済みで出願しなかった場合は、学務部教務課(経済学研究科担当)にて返金の手続きをしてください。

**【コンビニエンスストアまたはクレジットカードで支払う場合】**

別紙「コンビニ端末での入学検定料支払方法」、「クレジットカードでの検定料支払方法」を参照のうえ、お支払いください。

支払いの際に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を、「振込通知書(大学院提出用)貼付用紙」(本学所定用紙)に貼り付けて提出してください。

### 【金融機関から振り込む場合】

所定の振込依頼書を使用し、郵便局・ゆうちょ銀行以外の日本国内の金融機関窓口より振り込んでください（ATM およびインターネットバンキング等は不可）。出願受付期間を過ぎてからは振り込みできません。また、金融機関窓口営業時間にご注意ください。金額が訂正されたものや収納印がないものは無効です。

金融機関窓口で入学検定料を振り込んだ際に受け取った「振込通知書（大学院提出用）」を、「振込通知書（大学院提出用）貼付用紙」（本学所定用紙）に貼り付けて提出してください。

7. **研究計画書（本学所定用紙）** 専攻により書式が異なりますので注意してください。
8. **小論文 <公共・地域マネジメント専攻のみ>**  
免除を希望する場合はP.7「公共・地域マネジメント専攻出願者への補足説明」を確認してください。

入学検定料  
35,000円

### 出願手続

**出願はすべて郵送受付とします。また、出願した旨をメールでもお知らせください。**

### 受付期間

- 一般入試（秋） 2021年 8月30日（月）～ 9月 2日（木）（受付最終日消印有効）
- 一般入試（春） 2022年 1月11日（火）～ 1月13日（木）（受付最終日消印有効）

1. 出願の際は、出願書類を角形2号封筒（240×332mm）に入れ、郵便局窓口で簡易書留・速達郵便扱いの手続きをして郵送してください。封筒の表面には、必要事項を記入した出願用封筒表紙（本学所定用紙）を貼付してください。
2. 以下メールアドレスに出願書類郵送の旨をお知らせください。出願後、試験に関するご連絡をメールにて行う場合があります。メールの本文には必ず氏名を記載してください（外国籍の方はアルファベットで氏名と日本語で読み方を記載してください）。
3. 出願受付後、受験票を本人宛にお送りします。  
受付事務・郵便事情等により受験票の送付が多少遅れることがあります。入学試験日の3日前までに受験票が未着の場合は学務部教務課（経済学研究科担当）まで問い合わせてください。
4. **一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。**
5. 出願書類・入学検定料不備および受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。

### 〔問い合わせ先/出願後連絡先〕

メールアドレス：[in-keizai@aoyamagakuin.jp](mailto:in-keizai@aoyamagakuin.jp)

## 入学試験日

### 経済学専攻

一般入試（秋） 第1次試験（筆記試験）2021年 9月29日（水） 10:30～11:30  
第2次試験（口述試験）2021年10月20日（水）

※集合時刻・集合場所は送付する受験票にてお知らせします。  
※第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができます。

一般入試（春） 第1次試験（筆記試験）2022年 2月 2日（水） 10:30～11:30  
第2次試験（口述試験）2022年 2月16日（水）

※集合時刻・集合場所は送付する受験票にてお知らせします。  
※第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができます。

### 公共・地域マネジメント専攻

一般入試（秋） 口述試験 2021年10月20日（水）

※集合時刻・集合場所は、送付する受験票にてお知らせします。

一般入試（春） 口述試験 2022年 2月16日（水）

※集合時刻・集合場所は、送付する受験票にてお知らせします。

### 【試験についての注意事項】

1. 受験票に記載された集合時刻までに集合場所に入室してください（時間厳守）。
2. 口述試験については、試験開始時刻に受験者控室に不在の場合は受験資格を失います。
3. 試験当日は、受験票を必ずお持ちください。万一紛失した場合は、再発行しますので学務部教務課（経済学研究科担当）[17号館2階 スチューデントセンター内]へ来室してください。

## 合格発表

### 経済学専攻

一般入試（秋） 第1次試験（筆記試験）2021年 9月30日（木） 13:00  
第2次試験（口述試験）2021年10月29日（金） 13:00

一般入試（春） 第1次試験（筆記試験）2022年 2月 3日（木） 13:00  
第2次試験（口述試験）2022年 2月26日（土） 13:00

### 公共・地域マネジメント専攻

一般入試（秋） 2021年10月29日（金） 13:00

一般入試（春） 2022年 2月26日（土） 13:00

合否結果は、大学ホームページ「大学院入学試験等に関するお知らせ」（下記URL）にて発表します。

また、合格者には速達郵便にて入学手続書類を発送します。

<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>

## 入学手続

入学手続はすべて郵送受付となります（締切日消印有効）。

### 入学手続締切日

一般入試（秋）	第1次入学手続締切日	2021年11月11日（木）
	第2次入学手続締切日	2022年 3月 7日（月）
一般入試（春）		2022年 3月 7日（月）

※ 一般入試（秋）は、第1次入学手続と第2次入学手続に分かれています。

第1次入学手続、第2次入学手続ともに完了しない場合、合格は無効となりますのでご注意ください。

※ 詳細は合格者に送付される「入学手続要項」を参照してください。

## 注意事項

1. 障害があり、受験および就学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立って学務部教務課（経済学研究科担当）に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求められることがあります。
2. 本大学院では既に他の大学院で修得した単位を本学の単位として認定する制度がありますので、希望者は申し出てください（ただし、入学年度の4月初頭に限りです）。
3. 卒業見込みで出願していた者で、2022年3月末日までに卒業できなかった場合は、入学資格を満たせなかったこととなりますので、入学手続を完了していても本大学院に入学することはできません。
4. 本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、ならびに他大学および本学の学部と併せて在学することはできません。また、他大学大学院を修了または修了見込の者は、成績証明書および修了証明書または修了見込証明書を必ず提出してください。
5. 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
6. 受験、入学手続などに関する問い合わせは、学務部教務課（経済学研究科担当）にしてください。ただし、合否に関する問い合わせには一切応じません。
7. 出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、入学試験の結果を無効とし、入学後であっても遡って入学の資格を取り消すことがあります。その場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。
8. 教育職員免許状や各種資格（司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員）の取得に関連する内容での不明な点については、出願前に学務部教職課程課[電話 03-3409-9634]に問い合わせてください。

大規模災害等により、当初の試験日、選抜方法以外の選抜方法（出願書類、Web面接など）により、合否判定をおこなう場合があります。

## 授業実施キャンパス

授業は、青山キャンパス（東京都渋谷区渋谷4-4-25）で実施します。

## 授業時間について

時限	第1時限	礼 拝	第2時限	昼休み	第3時限	第4時限	第5時限
時間	9 : 00	10 : 30	11 : 00	12 : 30	13 : 20	15 : 05	16 : 50
	~ 10 : 30	~ 11 : 00	~ 12 : 30	~ 13 : 20	~ 14 : 50	~ 16 : 35	~ 18 : 20

## 学費等

### 2022年度 学費等の内訳及び入学手続納入金（予定）

費 目		金 額	備 考
学 費	入 学 金	290,000 円	入学時のみ
	授 業 料	217,500 円	年額 435,000 円(後期分 217,500 円は後期納入)
	在 籍 基 本 料	40,000 円	年額 80,000 円(後期分 40,000 円は後期納入) 毎年納入
	施 設 設 備 料	25,000 円	年額 50,000 円(後期分 25,000 円は後期納入) 2 年次前期・後期 各 25,000 円
	教 育 活 動 費	13,000 円	年額 26,000 円(後期分 13,000 円は後期納入) 毎年納入
	(小 計)	585,500 円	
諸 会 費	後 援 会 費	2,500 円	年額 5,000 円(後期分 2,500 円は後期納入) 毎年納入
	学 会 費	2,000 円	年額 4,000 円(後期分 2,000 円は後期納入) 毎年納入
	校 友 会 費	◎ 30,000 円	入学時のみ (注)
	(小 計)	34,500 円	
入学時納入金合計		<b>620,000 円</b>	(後期分学費等含まず)
初年度納入金合計		920,000 円	後期分学費等 300,000 円を含む

(消費税は課税されません)

(注) ◎印の校友会費は、退学、除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還を受けることができます。

#### 一般入試（秋） 2段階手続の場合（予定）

第1次入学手続納入金	290,000 円	入学申込金のみ (第1次入学手続時に納入された入学申込金は、第2次入学手続時に 入学金に振り替えます)
第2次入学手続納入金 (学費等分割方式)	330,000 円	通常の納入方式 (入学時納入金合計から第1次入学手続納入金を差し引いた金額) (後期分学費等は、入学後 9月に納入)
第2次入学手続納入金 (学費等一括方式)	630,000 円	後期分学費等を併せて納入希望の場合 (初年度納入金合計から第1次入学手続納入金を差し引いた金額)

#### 一般入試（春） 1回手続の場合（予定）

入学手続納入金 (学費等分割方式)	620,000 円	通常の納入方式 (入学時納入金合計の金額) (後期分学費等は、入学後 9月に納入)
入学手続納入金 (学費等一括方式)	920,000 円	後期分学費等を併せて納入希望の場合 (初年度納入金合計の金額)

#### 備 考

- 入学手続時に後期分学費等を併せて納入することもできます（通常は入学後9月に納入）。
- 今後、経済情勢に応じ、学費等の改定が行われた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。
- 本学の学部及び大学院博士前期(修士)課程出身者については次の通りとします。
  - ①入学金  
本学学部卒業者(見込みを含む)：全学免除  
本学大学院博士前期(修士)課程修了者(見込みを含む)：全学免除
  - ②校友会費  
本学出身者(学部卒業者および大学院修了者)：納入不要

#### 入学辞退願提出について

本大学院の入学手続（一般入試（秋）は第2次入学手続）を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が2022年3月31日（木）17時（窓口閉室時間）までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還いたします（郵送の場合は、簡易書留郵便で2022年3月31日（木）消印有効）。詳細は、合格者に送付する入学手続要項をご参照ください。

## 教員組織 (2022年度予定)

※各教員の研究テーマ・研究業績は「経済学研究科パンフレット」、または青山学院大学ウェブサイト内「教員紹介」([http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate\\_economics/staff.html](http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/staff.html))で確認してください。

**経済学専攻** 次ページ《別表》で第1次(筆記)試験の選択科目を確認してください。

職名	氏名	専門分野	担当科目(予定)
教授	○ 伊藤 萬里	国際経済学、貿易論、 多国籍企業論	国際経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 落合 功	日本経済史	日本経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 高 準亨	国際金融経済論	国際金融経済論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 白井 邦彦	労働経済論、労使関係論、労使関係史	産業労働論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 白須 洋子	コーポレート・ファイナンス、 リスク管理	ファイナンス研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	芹田 敏夫	理論経済学	ミクロ経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	高嶋 修一	日本経済史、日本経営史、 日本近現代史	現代日本経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 中村 隆之	経済学史	経済学史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 中村 まづる	経済政策論、公共選択論	経済政策研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 永山 のどか	近現代西洋経済史	現代西洋経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 馬場 弓子	ゲーム理論、産業組織論	応用ゲーム理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 平出 尚道	西洋経済史	西洋経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 松尾 孝一	社会政策、労働経済論	社会政策研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 松本 茂	応用厚生経済学	環境経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 水上 英貴	メカニズム・デザイン、 ゲーム理論、ミクロ経済学	ゲーム理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	元山 斉	統計学、計量経済学	統計学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	安井 健悟	労働経済学、応用計量経済学	労働経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 矢吹 初	財政学、地方財政論	財政学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
○ 吉田 健三	社会保障論、社会政策論、財政学、 アメリカ経済論、証券経済論	社会保障論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ	
准教授	○ 川上 圭	マクロ経済学、金融論	経済成長理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 田中 晋矢	時系列解析、計量経済学	データ解析研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 宮城島 要	社会選択理論、厚生経済学、 公共経済学	公共経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 脇 雄一郎	マクロ経済学	マクロ経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ

注：○印は研究指導担当教員

〈別表〉 経済学専攻 第1次（筆記）試験 選択受験科目

希望する研究指導教員の「○」が付いている科目から1科目を選択し、入学志願票、写真票の所定欄に○印を明記してください。

職名	氏名	ミクロ経済学	マクロ経済学	計量経済学	経済史	社会経済学
教授	伊藤 万里	○				
	落合 功				○	
	高 準亨		○			
	白井 邦彦				○	○
	白須 洋子	○	○	○		
	(芹田 敏夫)	○				
	(高嶋 修一)				○	
	中村 隆之				○	○
	中村 まづる	○				
	永山 のどか				○	
	馬場 弓子	○	○	○	○	○
	平出 尚道				○	
	松尾 孝一				○	○
	松本 茂	○		○		
	水上 英貴	○				
	(元山 斉)			○		
	(安井 健悟)	○		○		
	矢吹 初	○				
	吉田 健三	○	○	○	○	○
准教授	川上 圭	○	○	○		
	田中 晋矢			○		
	宮城島 要	○				
	脇 雄一郎		○			

※ ( ) の教員は2022年度学生募集において指導教員として希望できません。

公共・地域マネジメント専攻

職名	氏名	専門分野	担当科目(予定)
教授	井上 孝	地域人口論、人口学	地域人口論研究、同演習
	須田 昌弥	地域経済学、都市経済学、空間経済学	産業集積論研究、空間経済学演習
	高橋 重雄※	経済地理学、都市地理学	都市構造論研究、大都市地域分析演習
	高橋 朋一	G I S、システム工学	基礎地理情報システム、空間情報演習
	西川 雅史	経済政策論、公共選択論	公共経営論研究、同演習
	藤村 学	開発経済学、国際経済学	アジア経済論研究、開発政策評価演習
	宮原 勝一	公共経済学、応用計量経済学	基礎計量経済学、公共政策論研究、同演習、ワークショップB
	吉岡 祐次	租税論、財政学、公共経済学	基礎ミクロ経済学Ⅰ、租税理論研究、同演習
准教授	田中 鮎夢	国際経済学、文化経済学、自然災害の経済学	グローバル経済論研究、同演習
	矢崎 之浩	政治経済学、公共経済学	地方財政理論研究、同演習
兼任講師 ※	麻生 良文		法と経済学研究、公共経済学特殊講義B
	鶴川 正樹		公会計論研究
	大滝 英生		基礎マクロ経済学Ⅰ、基礎マクロ経済学Ⅱ
	酒井 吉廣		アカデミックライティングA
	藤田 康範		基礎ミクロ経済学Ⅱ、地域経済学特殊講義B

※授業科目のみ担当（兼任講師は2021年度実績）

公共・地域マネジメント専攻開講科目

\*太字は必修科目

A群科目

**基礎ミクロ経済学Ⅰ**  
**基礎地理情報システム**

**基礎マクロ経済学Ⅰ**  
基礎ミクロ経済学Ⅱ

**基礎計量経済学**  
基礎マクロ経済学Ⅱ

B群科目

地方財政理論研究  
公共経営論研究  
地域人口論研究  
租税理論研究  
公会計論研究  
地域経済学特殊講義A

公共経済理論研究  
産業集積論研究  
グローバル経済論研究  
法と経済学研究  
公共経済学特殊講義A  
地域経済学特殊講義B

公共政策論研究  
都市構造論研究  
アジア経済論研究  
非営利組織研究  
公共経済学特殊講義B

C群科目

プロジェクト演習A  
地方財政理論演習  
公共経営論演習  
地域人口論演習  
開発政策評価演習  
ワークショップB

プロジェクト演習B  
公共経済理論演習  
空間経済学演習  
空間情報演習  
租税理論演習  
アカデミックライティングA

プロジェクト演習C  
公共政策論演習  
大都市地域分析演習  
グローバル経済論演習  
ワークショップA  
アカデミックライティングB



地の塩、世の光  
The Salt of the Earth, The Light of the World  
【青山学院スクール・モットー】

青山学院大学大学院  
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25  
電話：03-3409-9526 (学務部教務課 経済学研究科担当)

青山キャンパス アクセスマップ  
<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html>  
青山キャンパス 構内案内  
<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/aoyama.html>



# 入学志願票

2022年度

青山学院大学大学院 経済学研究科 ( 秋 ・ 春 )  
 公共・地域マネジメント専攻 博士前期課程 一般入試

いずれかを○で囲む

フリガナ	性別	受験番号	写真貼付  1. 4×3cm 枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3カ月以内 撮影のもの 4. 全面糊付け 5. 裏面に氏名記入				
氏 名		※記入不要					
生年月日 (西暦)	年	月				日	( 歳 )
本籍地	都・道・府・県 (外国籍の場合は国籍を記入のこと)						
現住所 〒 _____ _____ 電話番号 ( ) _____ 携帯電話 ( ) _____ メールアドレス _____ @ _____							
学歴 (高等学校以降のすべての学歴を記入すること)							
	高等学校	(西暦)	年	月	卒業		
大学	学部	学科	年	月	入学		
大学	学部	学科	年	月	卒業・卒業見込		
大学	研究科	専攻	年	月	入学		
大学	研究科	専攻	年	月	修了・修了見込		
CDGDCの申請番号 (中国の大学での学位取得者のみ記入) _____							
日本語学習歴 (日本語を母語としない者のみ記入)							
	学校	(西暦)	年	月	入学		
	学校		年	月	卒業・在学中		
職歴 (非常勤・アルバイト・嘱託等は記入不要)							
	(西暦)	年	月	～	年	月	退職・在職中
	(西暦)	年	月	～	年	月	退職・在職中
学部における研究主題							
学部における主な研究内容							

本学出身者は記入すること

学生番号									演習担当者名 (履修している場合)	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

大学院 使用欄	※記入不要
	出 ・ 欠

青山学院大学大学院 写真票 2022年度

受験番号 <small>※記入不要</small>
------------------------------

フリガナ
氏名

研究科	経済学	研究科
専攻		専攻
課程	博士前期課程	
種別	一般(秋) ・ 一般(春)	

写真貼付
1. 4×3cm 枠なし
2. 上半身正面脱帽
3. 最近3カ月以内 撮影のもの
4. 全面糊付け
5. 裏面に氏名記入

\*経済学専攻志願者は、「筆記試験」の選択受験科目に○印を記入してください（学生募集要項P.14参照）

*	ミクロ経済学
*	マクロ経済学

*	計量経済学
*	経済史

*	社会経済学
---	-------

## 研究計画書

氏名	フリガナ	受験番号	※記入不要
入学後の研究主題			
<b>【注意】</b> 1. 枠内に印字してください（印字したものを貼り付けても構いません。ただし、枠を超える用紙を折って貼付しないこと）。 2. 3ページに収まるよう記述してください（①～④の配分は適宜変更しても構いません）。 3. 研究計画書はコピーして手元に保管し、口述試験の際、持参してください。			
<b>① 研究テーマの概要</b> （大学院でどのような問題を研究対象に取り上げ、どのような分析方法で研究を進めたいと考えているのかを記述してください。必要に応じて参考文献を引用してください。）			

氏 名		受験番号	※記入不要
<p>②これまで履修してきた講義、演習（ゼミナール）等と研究テーマの関連性</p> <p>（学部在学中に研究テーマに関連してどのような専門科目を履修したのか、また既にどのような知識を習得できているのかを具体的に記述してください。社会人の志願者は職場などで修得した知識と研究テーマの関連性を記述してください。）</p>			

氏名		受験番号	※記入不要
<p>③ 研究を進める上で、必要と思われる専門知識や専門科目 (研究を進めていくために現在どのような知識が不足しているのか、また大学院進学後にどのような授業を履修することで必要な知識を習得しようと考えているのかをできる限り具体的に記述してください。)</p>			
<p>④ 指導教員について (どのような理由で指導教員を選定したのか、また指導教員からどのような研究指導を受けたいと考えているのかを説明してください。)</p>			

**研究計画書**

氏 名	フリガナ	受験番号	※記入不要

入学後の研究主題

## 【注意】

1. 枠内に印字してください（印字したものを貼り付けても構いません。ただし、枠を超える用紙を折って貼付しないこと）。
2. 学生募集要項7ページを参照の上、記述してください。
3. 2ページに収まるよう記述してください（①～③の配分は適宜変更しても構いません）。
4. 研究計画書はコピーして手元に保管し、口述試験の際、持参してください。

① 研究テーマの概要（問題意識、研究の目的と方法、参考文献リストを記述して下さい。）



氏 名		受験番号	※記入不要
<p>② これまで履修してきた講義、演習（ゼミナール）等と研究テーマとの関連性 （学部在学中に履修した専門科目のうち、研究テーマに関連すると思われるものをできる限り具体的に記述してください。社会人の志願者は大学や職場などで習得したことと研究テーマとの関連性を記述してください。）</p>			
<p>③ 研究を進める上で、必要と思われる専門知識や専門科目</p>			

小論文（表紙）

氏名	フカガナ	受験番号	※記入不要

(小論文論題)

2022年度 一般入試（春）

以下の論題から1つを選択し、所定の記入用紙3枚以内で記述してください（図表添付可）。

論題 1

ある家計の効用水準を $u$ 、財 $X$ の消費量を $x$ 、財 $Y$ の消費量を $y$ 、効用関数を $u = a\sqrt{x} + by$ とする( $a$ と $b$ は正の定数)。そして、財 $X$ の価格を $p$ 、財 $Y$ の価格を $q$ 、所得を $m$ とする。このとき、財 $X$ の価格が $p_0$ から $p_1$ に変化した場合の「等価変分」と「補償変分」を求めよ。なお、これらを求める際に、効用水準 $u$ は( $p_0$ や $p_1$ に対応する)間接効用水準(間接効用関数の値)で計算せよ。また、計算過程を簡潔に記述して、参考文献を使用した場合、それらを必ず記載すること。

論題 2

トクビル著『アメリカのデモクラシー』松本礼二訳(岩波文庫, 2005年)には、「地域自治の制度が自由にとってもつ意味は、学問に対する小学校のそれに当たる」とある。あるいは、ブライス著『近代民主政治』松山武訳(岩波文庫, 2000年)には、「地方自治は民主政治の最良の学校」とある。トクビルとブライスのこうした主張について、わが国の市町村における地方自治への適用可能性について論ぜよ。なお、他文献からの引用や抜粋については通常の作法に則ること。

論題 3

地域間所得格差と地域間人口移動の関連性について説明しなさい。理論的に考察しても、具体的な国・地域を取り上げてデータに基づいて考察しても良い。

論題 4

2021年のノーベル経済学賞は「自然実験」の分野で実証研究のフロンティアを切り拓いた3人の経済学者が受賞しました。これに関し、(1)の記事からこれら受賞者の貢献について整理し、(2)の論文からは、問題意識・データ・分析手法・結果解釈について、自分なりにまとめなさい。(日本語で合計2000字以内)

- (1) The Economist (英エコノミスト誌) 2021年10月16日号p.70 “The Nobel prize in economics celebrates an empirical revolution”
- (2) David Card and Alan B. Krueger. 1994. “Minimum Wages and Unemployment: A Case Study of the Fast-Food Industry in New Jersey and Pennsylvania” American Economic Review Vol.84, No.4, pp.772-793

\* 選択した論題の欄に○を記してください。

論題 1	論題 2	論題 3	論題 4

※記入不要
-------

氏名		受験番号	※記入不要
----	--	------	-------

## (記入用紙 1)

## 【注意】

1. 枠内に印字してください（印字したものを貼り付けても構いません。ただし、枠を超える用紙を折って貼付しないこと）。
2. 参考にした文献や Web サイト情報をそのまま使用（転写・貼付：コピー&ペースト）しないでください。
3. 引用する際は、引用であることが分かるように記述してください。引用した文献、または、参考にした文献は、小論文の最後に【引用文献・参考文献】として漏れのないように記述してください。
4. 3 ページ以内で記述してください。

氏名		受験番号	※記入不要
----	--	------	-------

(記入用紙 2)

氏名		受験番号	※記入不要
----	--	------	-------

(記入用紙 3)

<一般(春)用>

経済

### 振込金受取書 (兼手数料) 受取書 入学検定料

20 年 月 日			円
金額	¥35,000		
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店		
受取人	預金種目	普通預金	8 3 2 9 7 6 0
	口座番号	(学)青山学院検定(大学院A)	
御依頼人	様		
備考	手数料	円	
上記の金額正に受け取りました。		収納印又は振替印	
〈銀行取扱期限日〉 2022 年 1 月 13 日			

(取扱店 → 御依頼人(志願者))

《志願者が保管してください》

☆この用紙は、一般入試(春)入試用です。

<一般(春)用>

経済

### 振込通知書(大学院提出用) 入学検定料

20 年 月 日			円
金額	¥35,000		
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店		
受取人	預金種目	普通預金	8 3 2 9 7 6 0
	口座番号	(学)青山学院検定(大学院A)	
御依頼人	様		
備考			
上記の通り振込みました。		収納印又は振替印	
〈銀行取扱期限日〉 2022 年 1 月 13 日			

(取扱店 → 御依頼人(志願者) → 大学院)

《出願書類の一つとして郵送してください》

☆この用紙は、一般入試(春)入試用です。

<一般(春)用>

経済学研究科

### 振込依頼書 入学検定料

依頼日	20 年 月 日		電信扱	手数料			円
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店		金額	¥35,000			
受取人	預金種目	普通預金	口座番号	8 3 2 9 7 6 0			
	がくアオヤマガクインケンテイ(ダイガクインエー)		〈銀行取扱期限日〉 ※ 2022年 1月13日				
	(学)青山学院検定(大学院A)						
御依頼人	打電CD	2 0 1	※期限後の取扱不可				
	カカナ氏名						
住所	漢字氏名			収納印又は振替印			
	(電話)	-	-				
※取扱銀行へお願い FB処理をしていますので、打電CD・カカナ氏名の順序で打電して下さい。							

(取扱店保管)

☆この用紙は、一般入試(春)入試用です。

取扱銀行  
切取線  
◎各欄の太枠の  
中だけボール  
ペンで記入下  
さい。

手数料  
振込人負担

# コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

## 1 お申込み

**セブン-イレブン**  
マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育  
↓  
入学検定料等支払

**LAWSON Loppi** **MINISTOP Loppi**

<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスマニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン  
↓  
学び・教育・各種検定試験  
↓  
大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票/申込券**」を発券ください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

## 2 お支払い

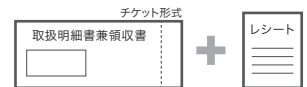
### ①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



### ②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。

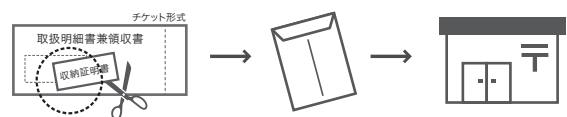


\*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。  
\*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。  
\*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	440円
	入学検定料が5万円以上	660円

## 3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

# クレジットカードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して検定料のお支払いが可能です。



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

インターネット申込  
クレジットカード決済

1. トップページ

「申し込む」ボタンをクリック

2. 研究科選択

研究科を選択してください。

3. 入試選択

受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック

4. 留意事項

留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック

6. 申込内容確認

申込された情報を確認し、問題なければ「申し込む」ボタンをクリック

7. 受付番号確認

受付番号(12桁)を控え、「次へ」ボタンをクリック  
(登録されたメールアドレスにも通知されます。)

8. クレジットカード情報入力

支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「クレジットカードにて支払う」をクリック

\*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。

9. 決済完了

完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。

\*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

出願

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から郵送にて出願。



## 【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。  
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 499円、30,000円以上50,000円未満…手数料 876円、50,000円…手数料 998円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください。  
「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。



# 振込通知書（大学院提出用） 貼付用紙

◎枠内を記入してください。

【入学検定料】

研究科	経済学	研究科	専攻	専攻
受験番号 (記入不要)			課程 ○で囲む	博士前期 ・ 博士後期
フリガナ				連絡先
氏名				( )

※連絡先には日中連絡が付きやすい電話番号を記入してください

## ① 金融機関から振り込む場合

### 振込通知書

(大学院提出用)

### 貼付欄

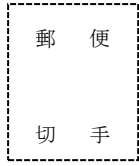
- \* 金融機関にて必要金額を振込後、振込通知書（大学院提出用）をはがれないように全面のり付けしてください。
- \* 金融機関の収納印の無いもの、金額が訂正されたものは無効です。

## ② コンビニエンスストアまたはクレジットカードで支払う場合

### 収納証明書

### 貼付欄

- \* 支払いの際に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」をはがれないように全面のり付けしてください。



150-8366

東京都渋谷区渋谷4-4-25

青山学院大学 学務部教務課  
経済学研究科 入試願書受付係 御中

(大学院入学試験・出願書類在中)

出願期間中の消印有効

簡易書留  
速達  
(二つ折厳禁)

※白黒印刷の場合は左記を赤枠で囲ってください

フリガナ	
氏名	
住所	□□□-□□□□ TEL. ( )
研究科・専攻	経済学 研究科 専攻
課程	博士前期課程 ・ 博士後期課程
入試種別	一般入試 ・ 学内進学 ・ 卒業生対象 (ウェルカム・バック)
アンケート (複数回答可)	*本入試を何でお知りになりましたか? 本学ウェブサイト ・ 大学院説明会 ・ 学生ポータル ポスター ・ チラシ ・ その他 ( )

※ 課程、入試種別、アンケート：該当するものを○で囲んでください

(青山学院大学大学院)